

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

新本庁舎新築工事の進捗状況について

資料 新本庁舎新築工事の進捗状況

令和4年7月28日

総務企画局

新本庁舎新築工事の進捗状況

1 これまでの経過と現在の工事の進捗

- ✓ 超高層棟新築工事及び関連4工事については、令和2年第2回臨時会にて議決をいただき、契約を締結しました。
- ✓ 復元棟新築工事は令和3年第2回定例会にて議決をいただき、契約を締結しました。
- ✓ 設備等の関連工事は市内企業と契約を締結しました。
- ✓ 以上、合計11件の契約を締結しております。

令和2年5月の工事着手以降、本年7月8日には建物本体の鉄骨工事完了である上棟を迎え、現在は、屋上の塔屋等の鉄骨工事や24階の床コンクリート工事、外装工事を並行して施工し、外装のカーテンウォール工事が完了したフロアでは設備工事・仕上げ工事を進めております。

着手以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延や、資材高騰といった厳しい状況の中、請負各社の努力により当初工程どおり進捗してきました。

しかしながら、本年3月末以降に中国各地で実施されたロックダウンの影響により、ガラスと金属で構成されるカーテンウォールの製作が遅れ、工事全体の工程にも影響することが確実になりました。



新本庁舎新築工事の進捗状況

2 製造が遅れた背景と部材

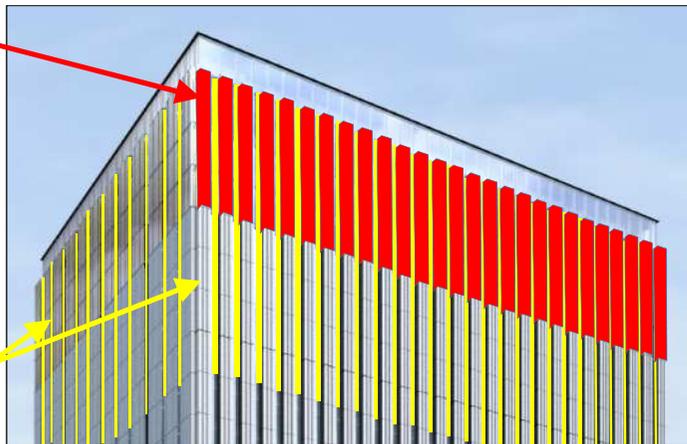
超高層棟新築工事の外装部材のうち、ガラスと金属で構成されるカーテンウォールは2社のメーカーに発注しており、両社とも、主に中国各地で部材を調達し、ユニット化した状態で輸入しています。

本年3月末から中国各地で実施されたロックダウンにより、工場稼働や物流が滞り製作工程から遅れ始めました。

6月から工場が正常稼働すれば、工事工程への影響は少ない見込みであったところ、5月末日にロックダウンは解除されましたが、解除後も上海近郊の工場稼働や物流が即時に通常の状態まで回復するには至りませんでした。

■ 22階～24階 南北面
ガラスBOXカーテンウォール
(パルマスティーリザ・ジャパン製)
上海近郊でガラスをBOX状にユニット化して輸入する製品

■ 18階～24階 全面
スリット状アルミカーテンウォール
(不二サッシ製)
瀋陽市でアルミ枠にガラスを組みユニット化して輸入する製品



新本庁舎新築工事の進捗状況

3 カーテンウォール工事の遅れによる全体工程への影響

- 躯体工事は予定どおり進み影響はありませんが、カーテンウォールが未施工のフロアは雨が吹き込むため、水に濡れてはならない仕上げ工事や設備工事が施工できません。
- カーテンウォールの取り付けには屋上のタワークレーンを使用するため、タワークレーンの解体が遅れ、解体跡に施工する設備等の工事が遅れます。

4 工期延長の検討

業務継続性の向上と本庁機能の分散化解消を早期に実現するため、移転時期を極力遅らせないよう、超高層棟のみ先行して供用開始する手法も検討していましたが、6月中旬を過ぎてもロックダウンの影響が残ったため、移転期間を含む全体の工期延長が避けられない状態になりました。

7月中旬の状況では、中国での製作状況は通常時に戻りつつありますが、**現時点で少なくとも3か月の工期延長が必要**となり、新築工事11件の請負業者と工期の再設定を行ってまいります。

工事費の増額については、請負業者と協議の上決定しますが、新築工事11件の合計の経費の概算額は、1か月あたり約4,500万円の増額となります。

5 その他の影響

- 什器等の発注
新築工事に連動して遅れることになるため、本年2月4日の総務委員会で御報告した議案提出の時期等についても変更が生じます。
- 移転時期
工期延長の期間が確定しない中で、移転時期・工程変更を検討する必要がありますが、調整に要する期間や移転時期の状況も勘案し、令和5年秋以降の移転開始を目途に調整を進めてまいります。
- 民間ビルの賃借料
新本庁舎供用開始後に解約予定の6件のビルの合計で、1か月あたり約7,500万円の賃借料がかかっています。

6 今後の対応

- 工期延長の期間が確定しましたら、移転や広場整備等の工程も併せてお示しします。
- 増額となる費用についても確定しましたら改めて御報告いたします。
- 今後も中国の情勢など不測の事態が生じる可能性もありますので、その際には御報告いたします。